



Indiana University School of Dentistry

JIP-IU 教授会長

Prof. Yoshiki Oshida, PhD, MS
Indiana University School of Dentistry, Professor Emeritus
University of California San Francisco School of Dentistry, Full Adjunct Professor
Waseda University Research Promotion, Advisor
Taipei Medical University, College of Oral Medicine, Visiting Professor

インディアナ大学 歯学部 名誉教授

第7期の開講に当たりIU教授連代表として挨拶もうしあげます。

2017年6月のJIP-IU総会では新たに3名のJIP-IU教授が承認昇格されました。

我々IU教授連のおおきな喜びであります。おめでとうございます。

我々歯科を取り巻く環境は近年凄まじい勢いで変貌してきております。4人に1人が65歳以上である高齢化社会に日本は既に突入しております。必然的に高齢者特有の身体的な問題も浮き彫りになってきております。諸々のストレス要因に脆弱となってきた生活不活発病(廃用性症候群)、非感染性疾患、慢性炎症等々を日常的に抱えての歯科医院への来院される患者さんの数も増加してきている現実があります。有病者歯科医療学会の存在理由も、このような環境変化に対応した動きの一つと捉えられる事ができます。そして、歯周病と糖尿病(含む合併症)との深い関連性への認識も高まっている現実を鑑みても歯科と医科の連携の必要性が今や急速に認識されてきております。Holistic Dentistry(全身的歯科)という独立した歯科分野も確立しつつある欧米での動きに我々JIPも遅れることなく進むべき時代です。幸いJIP-IUの組織はインディアナ大学の歯学部・医学部からそれぞれ優れた教授の参画を得て、良いタイミングで最新の情報を皆様に提供してきておりますし、これからもDHの基本的な姿勢からJIP-IUの活動を援助いたします。

第2講義(9月3日)、第3講義(12月10日)の後、2018年4月9日には歯学部で毎年開催のResearch Dayが開催され、(全部ポスター発表)JIP-IUの各先生方、DHの皆様の研究発表の場が用意されています。続いて、4月21日のガム大学での解剖実習、5月27日のIndy500カーレース、6月8-10日の補綴科卒業生のJFJohnston総会での口頭、ポスター発表の機会があります。そして、6月24日に7期終了・8期始業である総会があります。JIP-IUメンバーとして今から綿密な計画を立てて出来るだけ参加して頂ける事を希望します。

今後も歯科・医科連携という環境下におけるJIP-IU教授連としても何が出来るかを模索してまいります。

2017/2018年度開講に当たるIU教授連を代表して私の挨拶といたします。